

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



地区内を御船を担いで練り歩く船若ら

海上安全と商売繁盛を祈願して

■大江八幡宮の御船神事

国指定重要無形民俗文化財「大江八幡宮の御船神事」が9月20日、大江地区で行われました。

江戸時代発祥のこの神事は、相良湊の廻船問屋が海上安全や商売繁盛を祈願したことが起源とされており、精巧に作られた菱垣廻船と樽回船の模型船「御船」を激しく揺らし、神輿の先供をする行事です。

浴衣姿の「船若」と呼ばれる青年たちが、柱起こしや帆上げの後、長さ2メートルほどの御船を担ぎ地区内を練り歩きました。

2年ぶりに相良の空と海を彩る大輪の花火

■さがら海上花火大会

さがら海上花火大会が9月13日、さがらサンビーチで開催されました。

海上花火や水中スターマインをメインに、市のスローガン「RIDE ON MAKINOHARA」にちなみ、「いい波に乗ろう」として、1,173発の花火が晩夏の夜空を彩るもの。

昨年は台風15号による竜巻等災害のため中止となり、2年ぶりの開催となりました。会場に訪れた約2万人の来場客は、花火をスマートフォンで撮影するなど、夏の風物詩を楽しみました。



105店舗の夜店とともに夜空を彩った大輪の花火

市文化財の秘仏 12年ぶりの御開帳

■最明寺の千手観世音菩薩御開帳

最明寺(勝間田区)の千手観世音菩薩が9月21日から23日まで、開帳されました。

市の文化財に指定されているこの仏像は、伝承では東大寺の大仏建立に尽力した奈良時代の名僧・行基が作者とされています。高さ98センチの木造仏で、手は左右合わせて42本あります。

御開帳は地域住民で構成された実行委員会が主催で、12年に1度実施。飲食物販売やバンド演奏などが行われたマルシェも同時開催され、期間中は大勢の参拝者が訪れました。



12年ぶりに開扉された千手観世音菩薩に手を合わせる参拝者

体を動かして体も頭も元気に！

■認知症予防講演会

市は9月19日、さざんかで認知症予防講演会を開催しました。

これは、認知症状が重度化する前段階での早期発見・対応の大切さや、広く認知症予防を普及することが目的。「健康寿命延伸のための筋肉体操」をテーマとした講演会では、順天堂大学大学院の谷本道哉教授を講師に迎え、参加者は簡単にできる筋肉体操などを体を動かしながら学びました。また、会場には脳活おやつを試食や、脳年齢や骨密度測定などの健康測定コーナーも並びました。

スポーツと地域資源が融合！

■クロスカルチャービーチフェス2026in静波

「クロスカルチャービーチフェス2026in静波」が9月12日、同実行委員会の主催により静波海岸で開催されました。

このイベントは、サーフィンやスケートボードなどのアクションスポーツによる地域活性化や関係人口拡大などを目的に開催。会場にはサーフィンやダンスなど13の体験メニューやマルシェが設けられ、県内外から子どもたち約250人や保護者などが来場しました。また、相良高校生が宣伝資材の作成や体験の企画などに携わりました。



サーフィンは定番のマリンスポーツ



スケートボードの基本的乗り方を学ぶ参加者⑥



ラケットでボールを打ち合う「フレスコボール」

健康増進に関する連携協定締結式



協定書を手にする小林浜松支社長⑥と杉本市長

市民の健康寿命の延伸へ

■健康増進に関する連携協定締結式

市と明治安田生命保険相互会社浜松支社は9月3日、「健康増進に関する連携協定締結式」を行いました。

令和5年度に本市の健康増進事業に対して寄附いただいたことを契機に実施した本協定は、市民の健康増進や市民サービスの向上を目的として、地域の健康づくりなど健康寿命の延伸に取り組むもの。同社の小林幸子浜松支社長は「取組が広く認知されて、健康寿命の延伸などにつながるよう市と連携して取り組んでいく」とあいさつしました。

自分だけのビジネスを形にする一步

■わたしたちの月3万円ビジネスin牧之原「プレゼン大会」

「わたしたちの月3万円ビジネスin牧之原 プレゼン大会」が8月31日、市役所榛原庁舎で開催されました。

「月3万円ビジネス」とは、女性が趣味や特技を生かし、仲間と協力して自分だけのビジネスの創出から実践までを行う講座です。全6回の講座において、第4期生である受講生14人がビジネス内容の中間発表を行いました。受講生は、各自が実現したい事業内容について収支計画や今後の計画などを発表しました。



各自のビジネス内容について発表する第4期生